

令和3年度第1回庄原市特別支援教育研修会

令和3年6月25日（金） 各校でのオンライン研修

特別な支援を必要とする児童・生徒の適正な就学指導及び特別支援学級における適正な教育課程編成と教科用図書の選定についての周知を目的に、研修会を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Meetを使用したオンライン研修を行いました。

【講話】「特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係長兼主任管理主事 高淵 直哉



Meet 会議の様子

◆幼保小中学校間で就学に関する連携が一層進むよう、就学指導に関する講話を行った。

- ・当該児童生徒の将来的な自立や社会参加のために必要な力を培うという視点で、本人の教育的ニーズ等を踏まえた総合的な観点から就学先を決定する。
- ・就学指導に関しては、保護者、学校間、関係機関等との計画的な連携が必要である。特に保護者へは、学期末の懇談の時のみでなく、日頃から定期的に学校の実情を情報提供していくことが大切である。

【講話・演習】「特別支援学級の教育課程の編成について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 片山 博子



◆特別支援学級で、当該児童生徒の障害の状況及び発達段階に応じた教育課程を編成する際の留意事項等について周知・理解を図るため、講話・演習を行った。

- ・教育課程編成に当たっては、当該児童生徒の実態把握を十分に行うことが重要である。その際に、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用する。
- ・児童・生徒の実態に応じた、適切な指導が行われるよう、指導内容や時数、指導形態等に留意する。

【講話・協議】「特別支援学級で使用する教科用図書の選定について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和

◆特別支援学級で使用する教科用図書選定や事務手続きに係る留意事項等についての講話と、各校が使用している教科用図書の交流を Meet のグループ会議で行った。新学習指導要領から、中学部の指導段階が2段階になったことを受けて、今年度使用教科書から中学部用に☆5の教科書が加わったため、内容の紹介を行った。

- ・児童生徒の実態や教育課程と整合のとれた教科書を選定する必要がある。
- ・他校で使用する教科用図書（一般図書）を知ることにより、自校の教科用図書選定の参考にする。

【参加者の振り返りより】

- 就学指導委員会のスケジュール等を把握し、保護者と十分に連携をとることの必要性を学んだ。本校でも、早いうちから児童の様子を保護者へ伝え、足なみを揃えた取組をしたいと感じた。
- 特別支援教育においてもアセスメントは重要であり、教育課程を編成する上で、欠かせないことであると学んだ。担任だけでなく学校全体で当該児童に関わり、興味関心があることや身に付けさせたい力など、特別支援教育コーディネーターを中心に定期的にケース会議を設け、個に応じた教育課程を編成していきたい。
- 教科書選定の方法や流れがよく分かった。一般図書の選定では、時間をかけてじっくりと内容を見て、複数の職員で決めていくことの重要性がよく分かった。今回の Meet によるグループ協議での一般図書の紹介は、本がよく見えて分かりやすかった。